

地域密着型金融の取組みについて

<平成23年4月～平成24年3月>

豊橋信用金庫

地域密着型金融の取組みについて

I. 地域密着型金融の取組方針

当金庫は、信用金庫の原点である地域密着型金融を恒久的な取組みとして、継続的に推進し、理解者を増やしていくとともに、地域社会の期待に応え、より一層存在感を高めて、取引先の支援や地域活性化のための活動をさらに推進していくことを基本方針としています。このような考え方にに基づき策定された中長期経営計画（「とよしん『つなぐ力』発揮」）やこれに基づく単年度事業計画を確実に取組んでいくことが、地域密着型金融の機能強化につながるものと考え、事業計画において、「新事業支援」、「新しい融資手法の検討」、「課題解決型金融の実施」、「コンサルティング機能のさらなる充実」、「専門能力向上および公的資格取得への支援」、「地域密着型金融の取組み状況の公表」、「地域社会・経済への貢献活動」など、地域密着型金融に係る取組みを重点課題・主要施策としています。

平成 23 年度においても、下記の 3 項目を中心に、「地域密着型金融の取組み」として具体的に、お取引先の支援や地域活性化のお手伝いを進めてきました。

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

II. 平成 23 年度の取組み概要

当金庫は、地域密着型金融を継続的に推進し、4 月に、事業先の課題解決に係る各種機能を統合し、コンサルティング業務のさらなる充実をはかるため「事業支援部」を新設して、「新事業支援課」「経営相談課」「海外事業支援課」を設置しました。また、次世代を担う経営者・後継者・実務担当者のために「異業種交流の場」を提供する「とよしん次世代経営者の会『元気塾』」を開設しましたほか、地元の皆様の事業活性化をはかることを目的に「とよしん食農セミナー」「とよしん海外ビジネスサポートセミナー」を開催しました。

なお、平成 23 年度の実績として、ABL 融資については、ブランド豚などを担保として 2 件 30 百万円、PFI 事業については、1 件 143 百万円、シンジケートローンについては、4 先 6,008 百万円となっています。また、融資二部「法人支援課」による経営改善支援により、要注意債権等の健全化および不良債権の新規発生防止の活動を行い、経営改善支援取組先 164 先に対し、16 先がランクアップしました。

Ⅲ. 地域密着型金融の具体的な取組みと実績

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

項 目	具 体 的 取 組	取 組 実 績
創業・新事業支援	<p>○産学官連携を推進することにより地域経済の活性化に貢献することを目的として、豊橋技術科学大学や(株)サイエンスクリエイト等との連携を一層強化し、地域活性化の取組みを推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創業、新事業支援のための融資取組み ・6次産業化や地域資源活用の認定支援 ・豊橋技術科学大学に農業関連寄附講座を継続中 ・名古屋大学に環境関連寄附講座を継続中 ・豊橋技術科学大学及び名古屋大学への技術相談等の取次 ・名古屋商科大学との連携事業を実施 ・豊橋商工会議所ビジネスサポートセンター及び中小企業支援ネットワーク強化事業等を通じて専門家派遣や技術相談の取次 	<ul style="list-style-type: none"> ・融資取組実績 22件 348百万円 ・6次産業化認定支援 2件 ・地域資源活用認定支援 1件 ・しんきん食農技術科学講座継続中 ・しんきん環境事業イノベーション寄附講座継続中 ・技術相談等取次 23件 ・専門家派遣 24件
経営改善支援	<p>○経営改善支援取組先を選定し、「改善ステップ表」を用いた、業況ヒアリング等の実施による経営改善と債務者区分のランクアップへの取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・経営改善支援取組先 164先 ・うちランクアップ先 16先
事業再生	<p>○しんきんビジネスフェアへの参加を促進するなどの、地域の中小企業のビジネスマッチングへの取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマッチング成約 3件
事業承継	<p>○信金キャピタル（株）等との連携の強化による、M&A業務を推進</p>	—

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

項 目	具 体 的 取 組	取 組 実 績
担保・保証に過度に依存しない融資への取組み	○地域での情報を活かし、担保・保証に過度に依存しない融資手法への取組み ・在庫を担保とした流動資産担保融資（ABL）の取組み ・財務制限条項等を活用したシンジケートローンの取組み	・ABL 2件 30百万円 ・シンジケートローン 4先 6,008百万円
企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成への取組み	○企業の将来性・成長力等を見抜く洞察力の向上と、中小企業の業種ごとの技術力、開発力、販売力等を評価できる専門知識・能力を備えた人材の育成 ・豊橋創造大学大学院修士課程への職員派遣 ・外部派遣講座への職員派遣	・豊橋創造大学大学院修士課程 1名派遣 ・外部派遣講座 12名派遣

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

項 目	具 体 的 取 組	取 組 実 績
地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面」的再生への取組み	○豊橋市芸術文化交流施設整備等事業に対する融資取組み ○当地域経済問題や産業についての研究支援や、豊橋市中心市街地発展活動支援のため職員を派遣	・PFI事業への融資取組額 1件 143百万円 ・（社）東三河地域研究センター、（株）まちなか活性化センターに職員を各1名派遣
地域活性化につながる多様なサービスの提供	○地域への文化貢献活動の一環としてコンサートを開催 ○地元企業に対する景気動向等をアンケート調査し公表 ○利用者満足度調査を実施し、金庫経営の改善及び地域へのサービス向上に努めた ○地元の小・中学校で金融教育に関する出前授業を実施	・「ふれあいコンサート」を開催（平成23年11月5日） ・年4回アンケート調査を実施し、結果を公表 ・結果をインターネットのホームページで公表 ・豊橋市内の小・中学校7校で実施

平成23年度経営改善支援実績

単位:先数

		期初債務者数	うち 経営改善支援 取組先数	α のうち期末 に債務者区分 がランクアップ した先数 β	α のうち期末 に債務者区分 が変化しなか った先数 γ	α のうち再生 計画を策定し た先数 δ	経営改善支援 取組み率 (%) α/A	ランク アップ率 (%) β/α	再生計画 策定率 (%) δ/α
		A	α	β	γ	δ	α/A	β/α	δ/α
正常先	①	4,374	—		—	—	—		—
要 注 意 先	その他 要注意先	② 1,606	148	15	125	105	9.2%	10.1%	70.9%
	要管理先	③ 2	—	—	—	—	—	—	—
破綻懸念先	④	173	16	1	14	14	9.2%	6.3%	87.5%
実質破綻先	⑤	97	—	—	—	—	—	—	—
破綻先	⑥	28	—	—	—	—	—	—	—
	小計 (②～⑥の計)	1,906	164	16	139	119	8.6%	9.8%	72.6%
	合計	6,280	164	16	139	119	2.6%	9.8%	72.6%

(注)

- ・債務者、経営改善支援取組先は、取引先企業（個人事業主を含む）であり、個人ローン、住宅ローンのみの先は含みません。
- ・ β には当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しています。なお、経営改善支援取組先で期中に完済した債務者は α に含めるものの β には含めておりません。
- ・期初の債務者区分が「要管理先」であった先が期末に債務者区分が「その他要注意先」にランクアップした場合は β に含めています。
- ・期初に存在した債務者で期中新たに「経営改善支援取組先」に選定した債務者については（仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても）期初の債務者区分に従って整理しています。
- ・期中新たに取引を開始した取引先については、本表に含んでいません。
- ・ γ には、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載しています。
- ・みなし正常先については正常先の債務者数に計上しています。
- ・「再生計画を策定した先数」＝「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」＋「RCCの支援決定先」＋「金融機関独自の再生計画策定先」